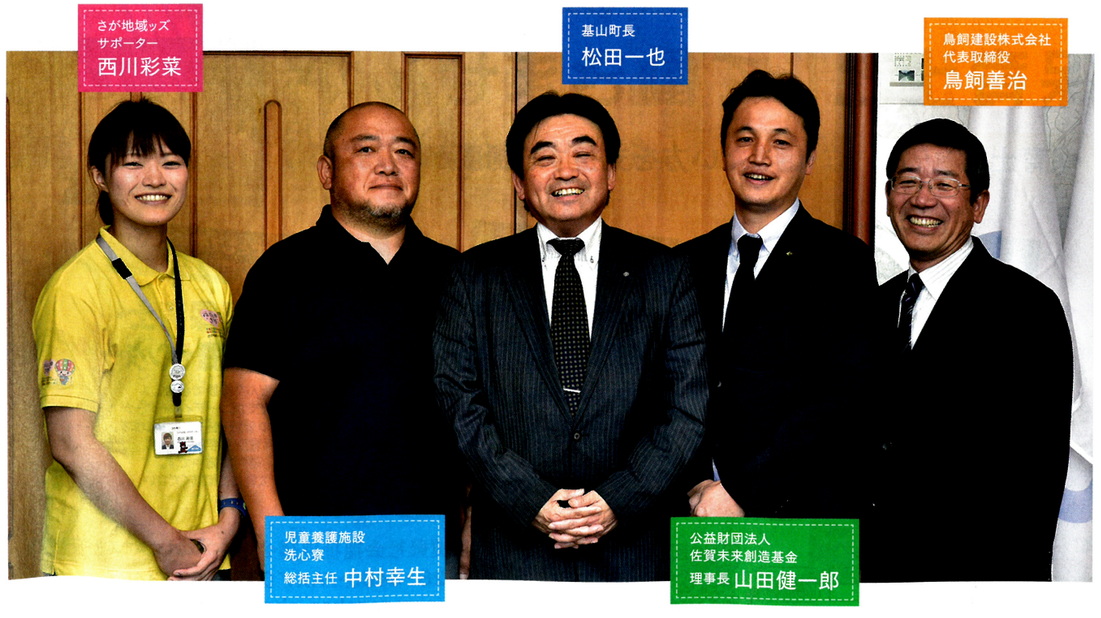
佐賀未来創造基金 & 月刊ぷらざ 特別協働企画

こども未来応援プロジェクト第三弾

子どもたちが夢を描ける環境づくり

子どもの貧困をはじめとする、虐待・いじめ・不登校・引きこもり・ひとり親家庭や日本在住外国人の子どもの困りごとなど、多重な困難を抱える子どもとその家族の問題を解決するために発足した【さが・こども未来応援プロジェクト】。今年度のテーマは『子どもの居場所』。4人のゲストを迎えてざっくばらんに意見交換を行いました。



佐賀未来創造基金・山田　今年度は『子どもの居場所』をテーマに、課題解決のために取り組んでいきたいと思います。松田町長の子ども支援に関するお考え・政策についてお聞かせください。

松田町長　ちょうど今日、『子どもの居場所』に関わる意見交換会がありました。二つが子育て世代包括支援センターを10月に立ち上げるというもので、虐待や貧困などのリスク案件も含めての駆け込み寺的存在を作るというものです。基山町は、ひとり親世帯率が非常に高くて、ある小学校は3割になるところもあります。もちろん、しっかりされている家庭も多いですが、虐待や貧困とひとり親に相関関係がないとも言い切れない状況があります。また、もう一つは32年4月オープン予定で町立保育園の建て替えを行います。保育園以外に、子育て交流ひろばや休日一時預かり、病後時保育なども一体的に取り組む施設を目指しています。地方創生予算を使用して、保育園内にお母さんたちに仕事を紹介する就業支援事業も立ち上げる予定です。

佐賀未来創造基金・山田　新しい取り組みがどんどん進められているのですね。

松田町長　基山町は、一人暮らしの高齢者世帯が10年後に日本でトップになるという推計があります。そういう面から考えると、一人暮らしの高齢者とひとり親世帯の方が一緒に食事を楽しんだりする『疑似3代親子』のような取り組みをして、孤立化を防ぐことも行っていきたいと考えています。様々な取り組みを押し進めていますが、基山の未来を構築していけるような、そういう子どもたちを育てて育んでいければと思っています。

洗心寮・中村　基山町で児童擁護施設・洗心寮、子ども家庭支援センター・和合、地域小規模養護施設・若竹を運営しています。

基山町には、昔からある町の行事などが残っているので、地域の大人との触れ合いが生まれます。“知らない大人”ではなくて“知っているおじちゃん”が周りにいることで、子どもが生活する上で安全・安心な場所が作られています。また、施設の子どもたちもよく利用しているのですが、多世代交流センターや福祉交流館など、地域の子どもたちが集える場所があるというのも、基山の良いところですね。子どもの頃に、先輩・後輩や様々な年代の地域の人と触れ合って過ごすことは大切な経験になります。そういう意味では、基山町には社会的支援が揃っていて、とても恵まれている地です。

鳥飼建設・鳥飼　お二人の話を聞いていると、昔のことを思い出しました。私たちの小さい頃は、地域で子育てをしているような感じで、親に不十分なところがあっても周りの人が助けてくれるような緩和剤があり、その中で子どもは健全に育っていました。その後コミュニティが崩壊して孤立化を招き、虐待・貧困問題が出てきたわけですから、昔に戻るのではなく、昔に似た新しいスタイルを作り上げる時なのかもしれません。

洗心寮・中村　『子どもの居場所』を考える時に、今後課題になってくるのは、親御さんとの繋がりです。今度新しくできる未来館では、赤ちゃんからずっとサポートできる仕組みができ、乳幼児の発達相談もできるということなので、協力体制を整えていきたいと考えています。

鳥飼建設・鳥飼　私は、地元で建設業をしていますが、農業法人なども立ち上げ、“地域の活性化”を一つの使命として取り組んでいます。ひとり親家庭の話もありましたが、子どもがいて働くことの問題もいろいろあります。一つの会社ではなかなか解決できないこともあるので、そこは行政とも共同で取り組んでいければと思うところです。先日読んだ本に【人間の本質的な幸せ】とは、①人に愛されること②人から認められること③他人を幸せにすること、と書かれていました。弊社では、経済の活性化と人材育成を目的として『トリカイ人づくり基金』を立ち上げていますが、これも様々な取り組みの応援を通して“誰かに幸せになってもらいたい”という思いで行っています。企業も様々な側面から応援していけるような社会の実現を目指していきたいと思います。

さが地域ッズサポーター・西川　私は、佐賀県からの派遣で『さが地域ッズサポーター』として、地域団体と子育て世代が繋がる機会づくりをしています。基山町に住み始めて1年半になりますが、子どもたち対象の体験学習へ行ったり、イベントをコーディネートしています。子どもと関わるSGK寺子屋部会では、お絵描きや化学実験など行ったりして、子どもたちと一緒に楽しんでいます。残り1年半の任期中に是非やってみたいイベントを計画中です。『ハッピーMフェスティバル(仮)』と題して、妊婦さんはもちろんお父さんも一緒に様々な体験ができるようなイベントを開催し、基山町をより盛り上げていけたらと思っています。

佐賀未来創造基金・山田　SDGsなどの考え方も広がっていますが、地域の担い手不足が言われているなかで、こういう風に積極的にいろいろ発案してくれるのは有難いですよね。

さが地域ッズサポーター・西川　基山は本当に住みやすくて、人もあたたかい素敵な場所です。私は鹿児島・徳之島の出身なのですが、第2のふるさととして大好きな町になりました。任期を終えて別の土地に行ったとしても、1年に一度は是非帰って来たいと思っています。

鳥飼建設・鳥飼　これまで基山に縁がなかった人に基山を好きになってもらうのは嬉しいですね。基山の良さの伝統は守りつつ、変える部分は革新を進めていくことが大切です。行政・企業・市民が一体となって、さらに良い街にしていきたいですね。

洗心寮・中村　それぞれが持っている資源を活用し、繋がりを大切にしていけたらいいですね。

松田町長　基山町は273年間は対馬藩だった時代があります。韓国式の山城もある。そういう意味では、いろいろな人が混じり合った土地です。またベッドタウンとしても、いろいろな人が混じり合っています。古代・中世・近世において混じり合った歴史を持つ基山だからこそ、もっと混じり合って(連携して)、力を結集していくことが大切だと感じています。私は『おかえりの街・基山』というスローガンを掲げていますが、毎日仕事から帰ってくる“おかえり”、スポーツや文化で週末楽しみに来るような“おかえり”、子どもや孫の世代が帰って来たくなるような“おかえり”、基山に縁がなかった人が基山を好きになって「何かあったら帰りたい」と思ってもらえる“おかえり”…そういう様々な“おかえり”“ただいま”が響く町にしたいと思っています。そのために、これからも子育て支援にしっかり力を入れていきたいと考えています。

子ども未来応援基金　地域のためになって!地域の特産品がもらえて!税金が還付・控除される!
あなたの想い = ふるさと納税が佐賀の未来を創る
佐賀の子どもの未来をふるさと納税で応援してください!
公益財団法人 佐賀未来創造基金
〒840-0813 佐賀市唐人2丁目5-12 TOJIN茶屋3F
Tel:0952-26-2228 Fax:0952-37-7193
E-mail:info@saga-mirai.jp
【Web】http://saga-mirai.jp/
【Facebook】www.facebook.com/mirai.design.saga
【銀行振込】佐賀共栄銀行 本店 普通 1210300 【郵便振替】01790-3-73100
Web QRコード